



## 2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社グッピーズ 上場取引所 東  
コード番号 5127 URL <http://www.guppy.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 肥田 義光  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 瞬 (TEL) 03-5908-3880  
四半期報告書提出予定日 2024年4月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第2四半期の業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	1,392	15.4	388	△15.3	387	△14.9	233	△24.3
2023年8月期第2四半期	1,207	—	458	—	455	—	308	—

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	63.24	61.08
2023年8月期第2四半期	90.43	84.18

(注) 1. 当社は、2022年8月期第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2022年9月30日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年8月期第2四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	3,134	2,376	75.8
2023年8月期	2,875	2,051	71.3

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 2,376百万円 2023年8月期 2,051百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,874	20.0	879	34.6	879	35.1	615	45.9	169.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年8月期2Q	3,853,300株	2023年8月期	3,632,800株
2024年8月期2Q	170株	2023年8月期	26株
2024年8月期2Q	3,698,610株	2023年8月期2Q	3,416,176株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、個人消費は持ち直しの動きが続き、経済活動活性化への動きがみられた一方で、海外景気の下振れリスクや世界的な金融資本市場の変動の影響、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇等、先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中においても、当社の注力市場である医療・介護・福祉分野におきましては、依然として人手不足が大きな課題になっており厚生労働省が発表した2024年度2月の有効求人倍率は、医療業界が2.59倍と全職業合計の有効求人倍率1.34倍を大きく上回っております。

当社では医療・介護・福祉分野の医療従事者の不足や偏在、また、介護事業者・介護従事者の不足を解消するため、医療提供機関、医療従事者の良きパートナーとなり、人材サービスをベースにした経営サポートを行うなど、新たなサービスの開発にも取り組んでまいりました。また、当社は2024年1月19日付プレスリリース「株式会社メドレーによる当社株券等に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」にて記載の通り、株式会社メドレーによる公開買付けが実施され、それに伴う関連費用が発生しております。

この結果、売上高は1,392,848千円（前年同四半期比15.4%増）、営業利益は388,064千円（前年同四半期比15.3%減）、経常利益は387,744千円（前年同四半期比14.9%減）となり、四半期純利益は233,911千円（前年同四半期比24.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 人材サービス事業

人材サービス事業では、医療・介護・福祉業界における主に有資格者に対応した求人サイト「GUPPY」において、中途転職者においては求人広告事業、就職新卒者においては国家試験過去問アプリの提供、求人広告、就職情報誌、また求職者全体への就職合同説明会などを展開し、国家試験対策から就職活動、転職までのサポートを提供しております。

当第2四半期会計期間においては、医療・介護・福祉業界に特化した求人サイト「GUPPY」において、求人者に対してスカウト配信サービスのサポート及び訴求を行い、利用配信数向上に努めました。

以上の結果、売上高は1,275,269千円（前年同四半期比14.3%増）、セグメント利益は623,660千円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

#### ② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、スマートフォンによる健康アプリ「グッピー ヘルスケア」を企業、自治体及び健康保険組合向けに提供しております。

当第2四半期会計期間においては、企業向けプランの顧客獲得に努めるとともに、地域対抗のウォークラリーイベントを開催し利用法人数の増加を図りました。また自治体についても東京都青梅市及び岡山県美作市へのサービス提供を開始いたしました。

以上の結果、売上高は117,579千円（前年同四半期比27.9%増）、セグメント損失は19,719千円（前年同四半期は30,184千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,890,645千円と前事業年度末比277,202千円増加しました。これは主に四半期純利益の計上及び増資に伴う現金及び預金163,317千円の増加、売上増加に伴う売掛金103,339千円の増加及び年間契約費用増加に伴う前払費用8,855千円の増加によるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は244,021千円と前事業年度末比17,734千円減少しました。これは主に求人サイト「GUPPY」の追加開発等に伴うソフトウェア仮勘定25,989千円の増加、ソフトウェア一括償却等に伴うソフトウェア35,564千円の減少及び繰延税金資産4,185千円の減少によるものであります。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の総資産は3,134,667千円となり、前事業年度末比259,467千円増加しました。

#### (流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は652,209千円と前事業年度末比137,523千円減少しました。これは主に税金の支払いが行われたことに伴う未払法人税等49,260千円及び未払消費税等23,443千円の減少、オフィス増床による設備費用等支払に伴う未払金29,505千円の減少、決算賞与が支払われたこと等に伴う未払費用25,253千円の減少によるものであります。

#### (固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は106,378千円と前事業年度末比72,146千円増加しました。これは主に新規借入れに伴う長期借入金70,000千円の増加によるものであります。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の負債合計は758,588千円となり、前事業年度末比65,377千円減少しました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,376,079千円と前事業年度末比324,845千円増加しました。これは主に四半期純利益の積み上げに伴う繰越利益剰余金233,911千円の増加、新株予約権の行使に伴う資本金45,700千円の増加及び資本剰余金45,700千円の増加によるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して321,039千円増加し、2,469,224千円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は33,733千円(前年同期は227,523千円の資金の獲得)となりました。これは主に減少要因として法人税等の支払額159,836千円(前年同期は84,393千円の資金の出資)があった一方で、増加要因として税引前四半期純利益356,588千円(前年同期は455,879千円)があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は48,965千円(前年同期は30,852千円の資金の支出)となりました。これは主に減少要因としてソフトウェアの取得による支出28,340千円(前年同期は29,251千円の資金の出資)があったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は178,549千円(前年同期は843,146千円の資金の獲得)となりました。これは主に増加要因として長期借入れによる収入100,000千円(前年同期は発生なし)があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月13日に公表した2024年8月期業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,308,909	2,472,227
売掛金	273,302	376,641
貯蔵品	5,959	5,638
その他	25,884	37,065
貸倒引当金	△612	△927
流動資産合計	2,613,443	2,890,645
固定資産		
有形固定資産	74,205	70,228
無形固定資産	71,666	62,092
投資その他の資産	115,884	111,700
固定資産合計	261,756	244,021
資産合計	2,875,199	3,134,667

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1,854	20,000
未払法人税等	177,169	127,908
契約負債	292,255	279,332
賞与引当金	12,961	12,947
褒賞費用引当金	31,733	13,409
その他	273,760	198,611
流動負債合計	789,733	652,209
固定負債		
長期借入金	—	70,000
健康ポイント引当金	8,390	11,004
資産除去債務	22,218	22,293
リース債務	3,622	3,081
固定負債合計	34,232	106,378
負債合計	823,965	758,588
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	428,290	473,990
資本剰余金	398,290	443,990
利益剰余金	1,224,720	1,458,631
自己株式	△67	△534
株主資本合計	2,051,233	2,376,079
純資産合計	2,051,233	2,376,079
負債純資産合計	2,875,199	3,134,667

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	1,207,398	1,392,848
売上原価	43,111	67,973
売上総利益	1,164,286	1,324,875
販売費及び一般管理費	706,144	936,811
営業利益	458,142	388,064
営業外収益		
受取利息配当金	8	11
受取戻金	96	485
雑収入	1	3
営業外収益合計	106	499
営業外費用		
支払利息	435	450
リース解約損	—	369
固定資産除却損	186	0
株式交付費	1,746	—
営業外費用合計	2,369	819
経常利益	455,879	387,744
特別損失		
ソフトウェア減損損失	—	31,155
特別損失合計	—	31,155
税引前四半期純利益	455,879	356,588
法人税、住民税及び事業税	130,261	118,492
法人税等調整額	16,681	4,185
法人税等合計	146,942	122,677
四半期純利益	308,936	233,911



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	455,879	356,588
減価償却費	5,275	11,988
ソフトウェア減損損失	—	31,155
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	340	315
褒賞費用引当金の増減額 (△は減少)	△2,719	△18,323
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,267	△14
健康ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,073	2,613
固定資産除却損	186	0
受取利息及び受取配当金	△8	△11
支払利息	435	450
売上債権の増減額 (△は増加)	△87,168	△103,339
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,838	321
未払金の増減額 (△は減少)	△14,960	△1,789
未払費用の増減額 (△は減少)	△39,805	△25,253
契約負債の増減額 (△は減少)	△18,623	△12,922
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,983	△31,788
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	—	△7,916
その他	△3,813	△7,895
小計	312,180	194,178
利息及び配当金の受取額	8	11
利息の支払額	△271	△620
法人税等の支払額	△84,393	△159,836
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,523	33,733
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,602	△20,623
ソフトウェアの取得による支出	△29,251	△28,340
敷金及び保証金の差入による支出	△41	△42
敷金及び保証金の回収による収入	43	41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,852	△48,965
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	—
長期借入れによる収入	—	100,000
リース債務の返済による支出	△575	△529
長期借入金の返済による支出	△10,992	△11,854
株式の発行による収入	754,781	91,400
自己株式の取得による支出	△67	△466
財務活動によるキャッシュ・フロー	843,146	178,549
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,039,817	163,317
現金及び現金同等物の期首残高	1,108,367	2,305,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,148,185	2,469,224

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	人材サービス 事業	ヘルスケア事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,115,496	91,902	1,207,398	—	1,207,398
外部顧客への売上高	1,115,496	91,902	1,207,398	—	1,207,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,115,496	91,902	1,207,398	—	1,207,398
セグメント利益又は損失 (△)	613,955	△30,184	583,770	△125,628	458,142

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△125,628千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	人材サービス 事業	ヘルスケア事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,275,269	117,579	1,392,848	—	1,392,848
外部顧客への売上高	1,275,269	117,579	1,392,848	—	1,392,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,275,269	117,579	1,392,848	—	1,392,848
セグメント利益又は損失 (△)	623,660	△19,719	603,941	△215,876	388,064

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△215,876千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額
	人材サービス 事業(注)	ヘルスケア事業	計		
ソフトウェア減損損失	31,155	—	—	—	31,155

(注) 報告セグメント「人材サービス事業」で使用しているソフトウェアにつきまして、当初に検討した事業計画において想定していた投下資金の回収見込みがなく、使用価値が零であることから、当該ソフトウェアの未償却残高の全額をソフトウェア減損損失として特別損失に計上しております。